

講義名	オ)TOEIC準備			
担当教員	中川 典子			
開講期・曜日・時限	前期 金曜日 3時限	授業形態	講義	
履修開始年次	2年生	単位数	2	備考

主題と概要

TOEICとはTest of English for International Communicationの略で、アメリカの非営利テスト開発機関でETS (Education Testing Service)が主催する英語のコミュニケーション能力を測るための試験である。特にTOEIC Listening & Readingのスコアは、大学生の就職活動や、社会人のキャリアアップ、海外赴任などさまざまな機会英語力の目安として現在活用されている。このコースでは、TOEIC初学者を対象に、試験の受験対策はもとより、英文法も含め、基本英語を確実に身につけるための指導を期間する。本コースは、「外国語の習得と、それを通じてグローバルな視点から、海外の社会や文化について学ぶことを目的とする」本学グローバル科目の趣旨に沿ったものであり、豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソン」を育成するという本学共通科目のディプロマポリシーに貢献するものである。なお、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から本コースではオンデマンド型授業を実施する。

到達目標

本コースでは以下の能力を養うことを目標とする。

- (1) TOEICの問題形式に習熟できる。
- (2) TOEIC受験に必要な英語の基本文法を習得できる。
- (3) TOEIC受験に必要な基本単語を習得できる。
- (4) TOEIC受験に精通した効果的な英文の読み方や読み方に習熟できる。
- (5) TOEICリーディング・リスニング・ライティングセッションの類似問題を演習できる。

上記の到達目標は「豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソン」を育成するという本学共通科目のディプロマポリシーの達成に役立つ。

提出課題

テキストのユニットの演習問題、基本英文法に関する演習問題、TOEICの文法およびリーディング問題等の課題を提出する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

課題の解答を提示する際、受講生にとって特に難解であると思われる英文法や英語表現の用法について詳細に解説する。授業内容に関するフィードバックや質問は毎週、Google formを使って提出してもらい、翌週の授業の講義資料の中で共有する。

評価の基準

(1) 課題 (40%) * 課題は提出すれば良いということではなく、個々の課題は採点評価をともなう。
(2) クイズ (20%)
(3) 定期試験 (40%)

履修にあたっての注意・助言他

コロナウイルス感染拡大防止の観点から、このクラスではオンデマンド型の授業を実施します。音声付き講義資料は授業日の授業開始時刻までにYoutubeまたはMicrosoft Streamにアップしますので、インターネットに接続できる環境を整えておいてください。なお、資料を見送るようにPDFファイルを「講義連絡」にアップします。教科書は必ず購入してください。当然、購入しているという前提で授業を実施します。教科書がないことにより生じる不都合は自己責任となります。

オンデマンド型の授業という性格上、効果的な授業運営のために、受講生の皆さんには授業に先立ち、相当量の課題を行っていただく必要があります。授業日の翌日に「講義連絡」に次週の授業のための課題を提示し、授業日の3日前までに提出していただきます。第1回目の課題は第1回目の授業が開始される1週間ほど前に「講義連絡」に提示をします。購入した教科書の到着時期を考慮して、Unitについては「講義連絡」に提示する可能性がありますが、いずれにせよ、受講する人は迅速に教科書購入の手続きをとってください。また、課題はMS Word形式で提出します。スマホからの写真やテキストでの提出は認めませんので、インターネット接続とともに課題を整えておいてください。

毎週、通常の授業時間内(全編の13時～14時20分)の15分授業を合わせてクイズを実施します。クイズへのアクセス方法については第1回目の講義資料説明します。提出課題に関する連絡は授業の講義資料およびRyuka Portalの「講義連絡」を通じて行います。期限後の提出は認められません。その他の連絡がある場合もRyuka Portalの「講義連絡」を通じて行いますので、必ず確認してください。

教科書				
.Score Booster for the TOEIC L & R Test Beginner.	Koji Hayakawa, Yoichi Kishi	Kinseido	¥1,900	978-4-7647-4088-4

プリント資料及び参考文献

基本英文法の資料やワークシート、その他、TOEICの演習問題を適宜、「講義連絡」に提示する。

授業計画

授業回数 授業内容

1. Travel (旅行に関する語句・表現を覚える。名詞を学ぶ)
2. Dining Out (レストランや食事・料理に関する語句・表現を覚える。形容詞を学ぶ)
3. Shopping (買い物に関する語句・表現を覚える。副詞を学ぶ)
4. Entertainment (エンタテインメントに関する語句・表現を覚える。時制を学ぶ)
5. Advertising (広告・宣伝に関する語句・表現を覚える。主語と動詞の一致を学ぶ)
6. Events (イベントに関する語句・表現を覚える。動動態・受動態を学ぶ)
7. Daily Life (日常生活に関する語句・表現を覚える。動名詞・不定詞を学ぶ)
8. Media (メディアに関する語句・表現を覚える。代名詞を学ぶ)
9. Recruiting (求人・採用に関する語句・表現を覚える。比較を学ぶ)
10. Production & Sales (売り上げ・業績に関する語句・表現を覚える。前置詞を学ぶ)
11. Meetings (会議に関する語句・表現を覚える。接続詞を学ぶ)
12. Offices (オフィスに関する語句・表現を覚える。前置詞と接続詞の違いを学ぶ)
13. Personnel (人事に関する語句・表現を覚える。関係代名詞を学ぶ)
14. Business Activities (ビジネスに関する語句・表現を覚える。語彙の結びつきを学ぶ)
15. Finance (予算・費用に関する語句・表現を覚える。語彙の結びつきを学ぶ)

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/>	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/>	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	<input type="radio"/>	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	<input type="radio"/>	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：英文法の演習シートに取り組み、リーディングセクションの単語の検索、次回の授業のための課題の予習（2時間）
復習：その日の授業の学習内容の復習（授業で学習した基本英文法、語彙やリーディングセクションの見直し、リスニングセクションの聴解）（2時間）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本コースではTOEIC受験のための実用的な知識を修得する。TOEICの問題形式に習熟し、演習を積み重ねて、実践的なコミュニケーション能力の向上を図ることにより、国際理解を深め、卒業時に必要なグローバル社会で活躍できるコミュニケーション能力の育成につなげる。これらの能力は高学部に求められる卒業生の動向や問題点を理解するための基礎知識・経済学部生に求められる経済にまつわる情報分析の力・人間社会学部生に求められるコミュニケーション能力の修得に役立つ。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

オンデマンド型授業ではあるが、音声付講義資料の中で、会話文の役割演習を講師と実施できるようにすることで、一定の双方向性授業を目指す。

実務経験の有無及び活用

備考

再掲しますが、音声付きの講義資料を使って、オンデマンド型授業を実施しますので、パソコン等で視聴できるように準備をしておいてください。提出物はすべてWordファイルで提出していただきます（それ以外は不受理、期限厳守）。講義資料や提出課題はRyuka Portal「講義連絡」に提示します。課題の提出は非常に重要です。相当量の課題があります。その他、授業に関する連絡は「講義連絡」を通じて行います。